

ニュータイカライトR 軽鉄下地工法

特 徴

耐火品質がみえる

一般的な吹付ロックウール耐火被覆材は耐火品質を担う比重や厚み等を現場管理しながら施工する必要がありますが、ニュータイカライト R は工場にて耐火品質を担う原料配合・比重・材厚が徹底管理され製造され、現場に納品されます。納品時には材料面での耐火品質は確保されています。

工期短縮を実現

一般的な吹付ロックウール耐火被覆工事を省略できるので、耐火被覆工事の工程を短縮する事ができます。また、乾式工法なので吹付ロックウールのように飛散養生や清掃などの手間もかかりません。

施工性の向上

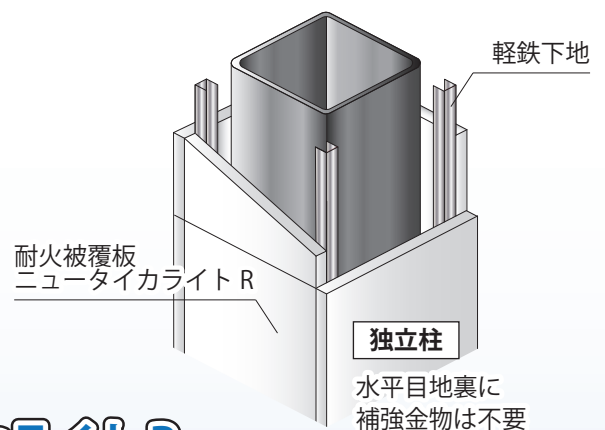
独立柱の工法はケイカル板目地部の裏側に補強金物は不要です。その為、強化せっこうボードの耐火被覆認定工法と比べて、軽鉄下地工事の制限が少なく施工しやすい工法となっています。また、けい酸カルシウム板の製品の比重（2号品の場合 0.25）は強化せっこうボードの約 1/3 と軽く加工しやすいのでより作業効率が上がります。

コンパクトな仕上がりを実現

吹付ロックウールを省略できるので、柱梁の仕上がりサイズを小さくする事ができます。軽鉄下地の取付方法によっては更にコンパクトに納める事が可能です。せっこうボードを上張りする事も可能です。
※軽鉄下地の取付方法に関しては別途、標準施工手順書をご確認ください。

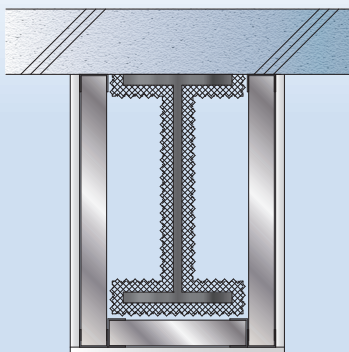
柱梁として材料ロスが少なく環境に優しい

一般的な柱梁の仕上げサイズに適した製品規格なので、現場での廃材を減らす事で環境負荷を低減できます。また、アスベストやフロン、ホルムアルデヒドやその他の VOC など含まれておりませんので安心してご利用いただけます。

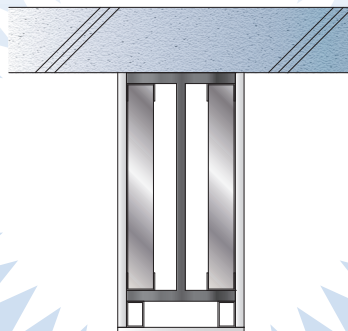


※ALC 合成柱の場合は水平目地部に下地が必要となります。

(一般工法) 吹付 RW
耐火被覆材の場合



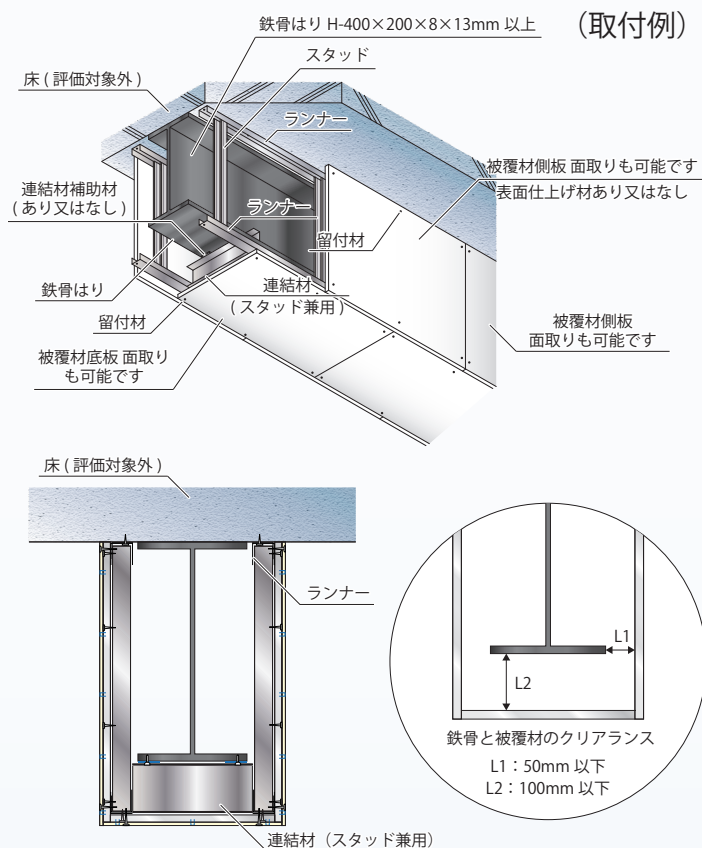
ニュータイカライトR
軽鉄下地工法の場合



※上記納まりは一例です

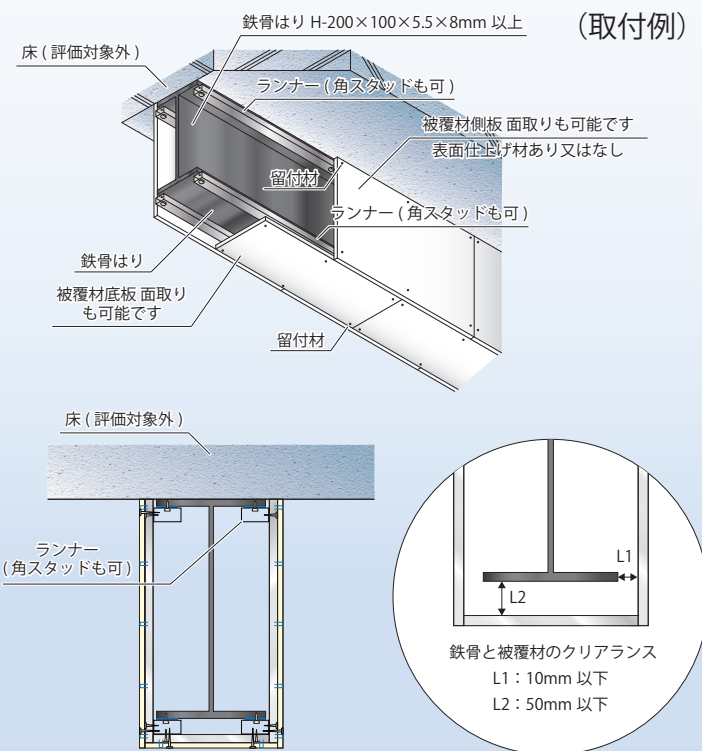
梁 (独立梁) 1H 耐火 FP060BM-0703 1.5H 耐火 FP090BM-0843

主な認定条件			
耐火時間	1 時間	1.5 時間 (90 分)	
被覆材厚さ	15mm 以上 (1 号品, 2 号品共)	25mm 以上 (1 号品, 2 号品共)	
離隔距離	L1 : 50mm 以下 L2 : 100mm 以下		
鉄骨はり	H-400 × 200 × 8 × 13mm 以上	H-350 × 175 × 7 × 11mm 以上	
ランナー	① [-40 × 22 × 30 × 0.5mm 以上 ② [-19 × 25 × 0.5mm 以上 ③ □ -40 × 20 × 0.45mm 以上 ④ L -30 × 30 × 0.5mm 以上		
スタッド	①〜③ : ランナーと同じ ④ L -30 × 30 × 0.4mm 以上 ⑤ 平鋼 -40 × 0.4mm 以上		
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール		
認定番号	上張り材	吸音断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060BM-0703(1) FP090BM-0843(1)
	あり	なし	FP060BM-0703(2) FP090BM-0843(2)
	なし	あり	FP060BM-0703(3) FP090BM-0843(3)
	あり	あり	FP060BM-0703(4) FP090BM-0843(4)



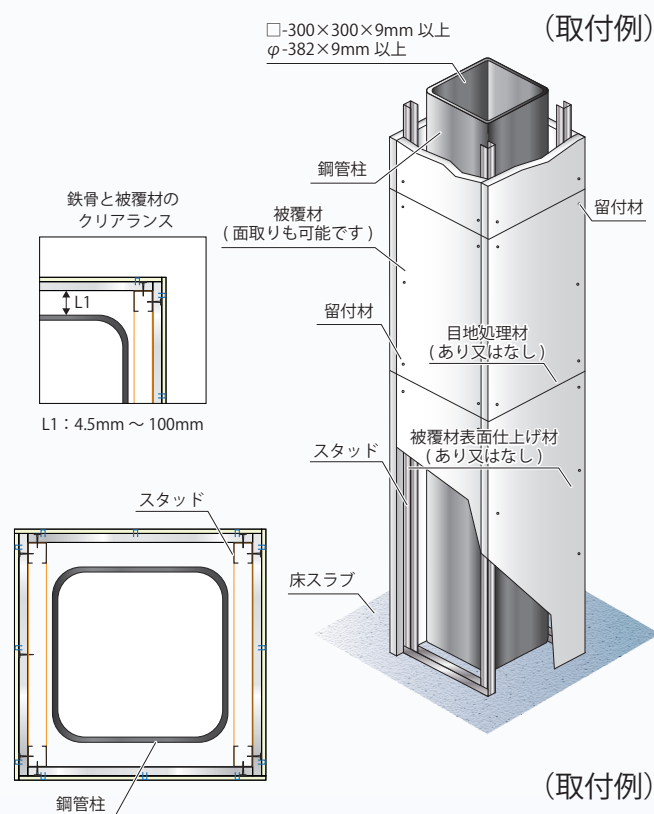
梁 (独立小梁) 1H 耐火 FP060CN-0762

主な認定条件			
耐火時間	1 時間		
被覆材厚さ	20mm 以上 (1 号品, 2 号品共)		
離隔距離	L1 : 10mm 以下 L2 : 50mm 以下		
鉄骨はり	H-200 × 100 × 5.5 × 8mm 以上		
ランナー	① [-40 × 22 × 30 × 0.5mm 以上 ② [-19 × 25 × 0.5mm 以上 ③ □ -40 × 20 × 0.45mm 以上 ④ L -30 × 30 × 0.5mm 以上		
スタッド	①〜③ : ランナーと同じ ④ L -40 × 40 × 0.4mm 以上 ⑤ 平鋼 -40 × 0.4mm 以上		
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール		
認定番号	上張り材	吸音断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060CN-0762(1)
	あり	なし	FP060CN-0762(2)
	なし	あり	FP060CN-0762(3)
	あり	あり	FP060CN-0762(4)



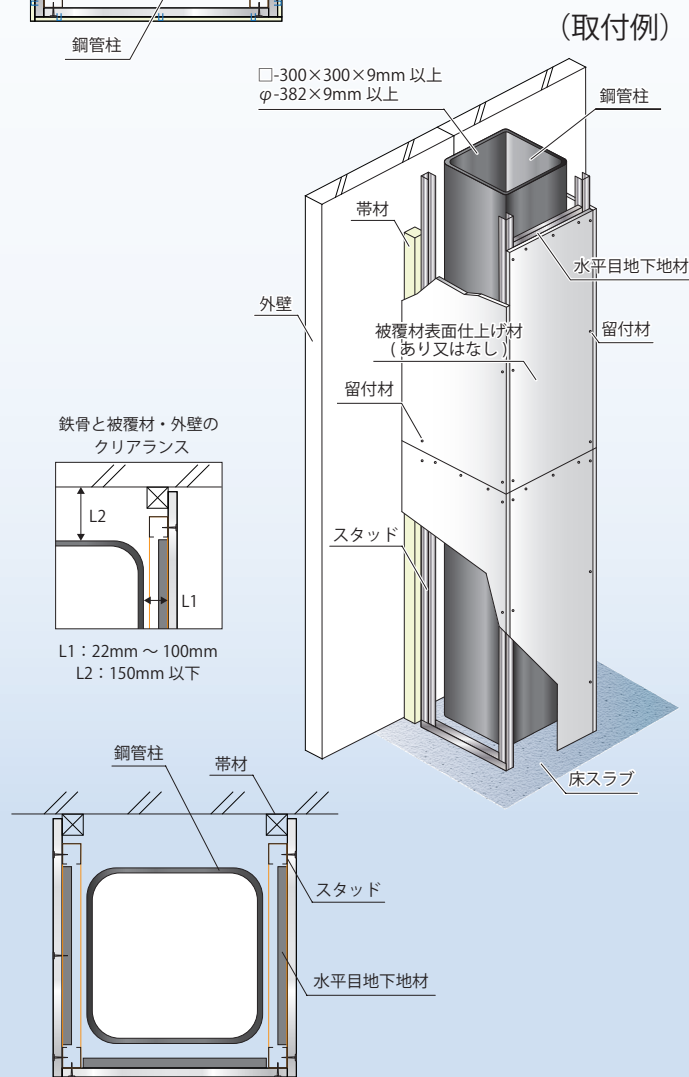
柱 (独立柱) 1H 耐火 FP060CN-0977

主な認定条件			
耐火時間	1 時間		
被覆材厚さ	20mm 以上 (1 号品, 2 号品共)		
離隔距離	L1 : 4.5mm ~ 100mm		
鋼管柱	□ -300 × 300 × 9mm 以上, 但し幅厚比の制限あり		
ランナー	[-42 × 30 × 0.5mm 以上		
スタッド	① [-40 × 22 × 30 × 0.5mm 以上 ② [-40 × 45 × 0.5mm 以上 ③ □ -40 × 20 × 0.45mm 以上 ④ [-40 × 40 × 0.4mm 以上		
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール		
認定番号	上張り材	吸音断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060CN-0977(1)
	あり	なし	FP060CN-0977(2)
	なし	あり	FP060CN-0977(3)
	あり	あり	FP060CN-0977(4)



柱 (ALC 合成柱) 1H 耐火 FP060CN-1047

主な認定条件			
耐火時間	1 時間		
被覆材厚さ	20mm 以上 (1 号品, 2 号品共)		
離隔距離	L1 : 22mm ~ 100mm L2 : 150mm 以下		
鋼管柱	□ -300 × 300 × 9mm 以上, 但し幅厚比の制限あり		
外壁	① ALC パネル縦張り (JIS A 5416) ② 鉄筋コンクリート ③ プレキャストコンクリート いずれも, 厚さ 75mm 以上		
ランナー	[-42 × 30 × 0.5mm 以上		
スタッド	① [-40 × 45 × 0.5mm 以上 ② □ -40 × 45 × 0.45mm 以上		
上張り材 (あり又はなし)	せっこうボード (JIS A 6901) 厚さ 9.5mm 以上		
吸音・断熱材 (あり又はなし)	グラスウール及びロックウール		
水平目地下地材	① [-60 × 20 × 0.4mm 以上 ② [-60 × 20 × 0.4mm 以上 ③ [-60 × 40 × 0.4mm 以上		
認定番号	上張り材	吸音断熱材	認定番号
	なし	なし	FP060CN-1047(1)
	あり	なし	FP060CN-1047(2)
	なし	あり	FP060CN-1047(3)
	あり	あり	FP060CN-1047(4)



標準物性

製品名	かさ密度 [g/cm ³]	曲げ強さ [N/mm ²]	JIS A 5430 分類
ニュータイカライト R 1号	0.35	2.0	0.5TK
ニュータイカライト R 2号	0.25	0.5	0.2TK

当社標準サイズ

製品名	厚さ [mm]	当社標準サイズ [mm]
ニュータイカライト R 1号	15 20 25 30 35	610 × 1000 910 × 1000 1525 × 1000 3050 × 1000
ニュータイカライト R 2号	15 20 25 30 35 40	

※ 当社標準サイズは常時の在庫品ではありませんので在庫状況につきましては、当社営業担当者までお問い合わせください。
また標準サイズ以外のご希望がある場合におきましても当社営業担当者までお問い合わせください。

取扱いの注意事項

- ・屋内専用の製品であり直接雨がかかる部位では使用できません。
- ・梁型のスリーブ貫通処理に関しては営業担当者へお問い合わせください。
- ・柱型など手が触れる部位にはニュータイカライト R・1号品をご推奨します。また角欠け防止の為コーナービート等の設置をお願いします。
- ・より強度が必要な部位等においては、せっこうボードの上張りをお願いします（上張り材の有無により、認定番号が変わります）。
- ・上記の構成材料表は耐火認定における数値を記載しております。実施工時の軽鉄下地のサイズ、ビスのピッチなどは構造上の安全面を考慮して選定ください。
- ・詳細な認定条件、及び施工方法は「標準施工手順書」をご参照ください。



施工手順書はこちら



日本インシュレーション株式会社

ホームページ URL
<https://www.jic-bestork.co.jp/>

2025年7月改定版
AF023補19-2507-ver2.3

部門・部署	電話番号	FAX 番号	部門・部署	電話番号	FAX 番号
関東支社販売グループ	03(4500)6763	03(4500)6770	関西支社販売グループ	06(6210)1282	06(6210)1283
東北営業所	022(779)6651	022(779)6652	中部営業所	052(228)8682	052(228)8683
九州営業所	092(452)8651	092(452)8671	建築営業開発部	03(4500)6765	03(4500)6770

本資料の内容は予告なく変更することがあります。なお、当社に無断で本資料を複製・転載することを禁止します。
また、本資料に記載される商品は日本国市場向けのものであり、日本国以外の国で商品を使用する場合、様々な制限を受けます。